K343－2 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清 、再建を伴うもの） 110,950点 【新設】

（白本627ページ）

別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

1　内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋 底郭清、再建を伴うもの）に関する施設基準

(1)　耳鼻咽喉科、脳神経外科及び眼科を標榜している病院であること。

(2)　耳鼻咽喉科の経験を5年以上有する常勤の医師が2名以上配置されており、このうち1名以上は少なくとも5例以上の内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型(拡大副鼻腔手術)の経験を有して いること。

(3)　脳神経外科又は眼科の経験を5年以上有する常勤の医師がそれぞれ1名以上配置されてい ること。

(4)　緊急手術が可能な体制を有していること。

2　内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭 蓋底郭清、再建を伴うもの）に係る届出は、別添2の様式 52 及び様式 54 の7を用いること

K343－2 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清 、再建を伴うもの） 110,950点 【新設】

（白本627ページ）

K151－2 広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術　193,060点⇒　216,230点

K343　鼻副鼻腔悪性腫瘍手術　　1 切除 25,040点

2 全摘 49,690点

【ご留意頂きたい点】

- ✓ 鼻副鼻腔の**悪性腫瘍手術**であること
- ✓ **頭蓋底再建**を伴うこと（脂肪、筋膜、軟骨、骨、粘膜弁など）
- ✓ 開頭術を併用した場合でも、K151－2のみで算定すること

K470－2 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法　22,100点【新設】　（白本630ページ）

施設基準：緊急事態に対応するための体制その他当該療養を行うにつき必要な体制が整備されていること。（要届出）

1　半導体レーザー用プローブを用いて切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌に対してレーザー光照射を実施した場合に算定する。

2　本療法は、頭頸部外科について5年以上の経験を有し、本治療に関する所定の研修を修了している医師が実施すること。

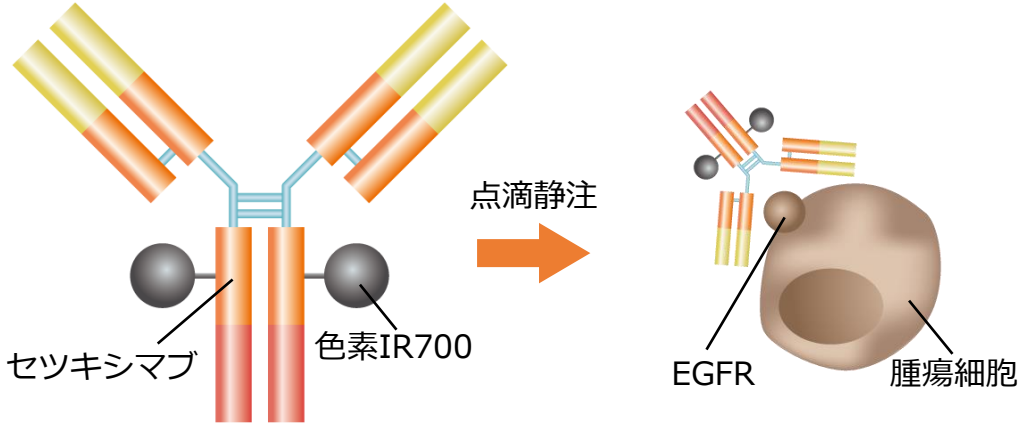
【ご留意頂きたい点】

- ✓ 適応は、**切除不能な局所進行または局所再発の頭頸部癌**であること
- ✓ 1症例について**4回まで算定が可能**。（施行間隔は、通常4週間以上）
- ✓ 薬剤料は、およそ400万円/回
- ✓ 日本頭頸部外科学会のホームページもご参照下さい。（頭頸部イルミノックス治療）

作用機序

本治療の構成及び作用機序

1 アキャルックス®の点滴静注

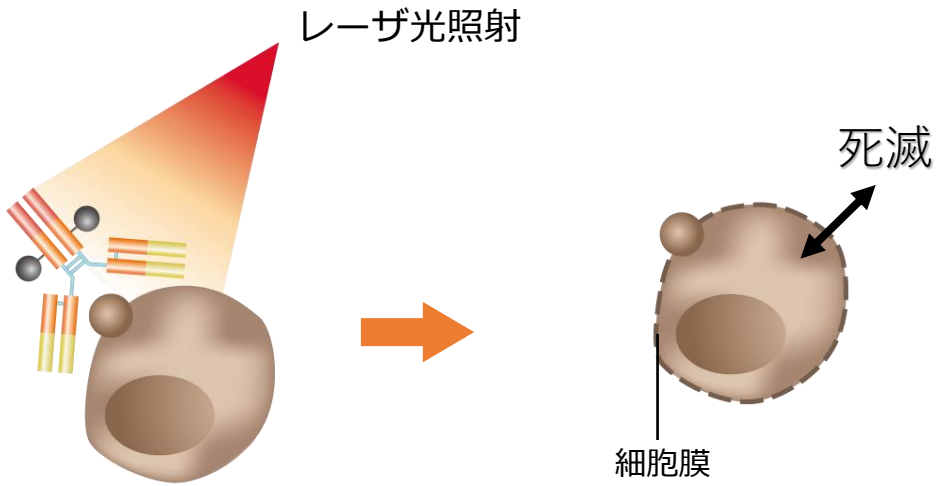


アキャルックス®を
点滴静注する

アキャルックス®が
腫瘍細胞のEGFRに
結合する

模式図

2 BioBlade®レーザシステムによるレーザ光照射（波長690nm）



レーザ光照射により色素IR700が
光化学反応を起こして、腫瘍細胞の細胞膜を
傷害することにより殺細胞効果を示す

模式図

本治療［2つのステップ］

投与前日まで → Day 1：投与日（レーザ光照射前日） → Day 2：レーザ光照射 → 照射後

- 対象患者の選択
- 治療計画の立案

→ **点滴静注**　アキャルックス® 点滴静注 250mg

投与終了
20～28時間後

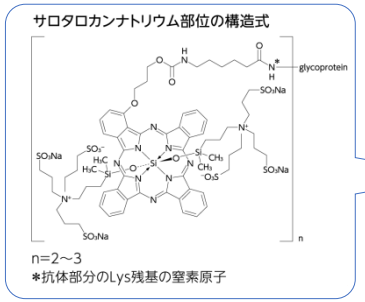
→ **レーザ光照射**　BioBlade® レーザシステム

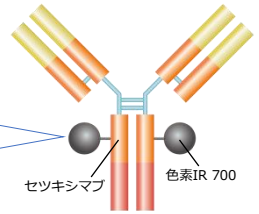
→ 経過観察

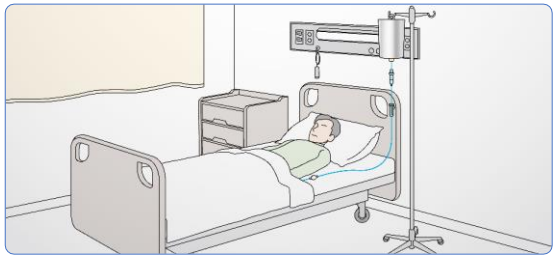
アキャルックス® 640mg/m²
薬価：1,026,825円/250mg

Step1　アキャルックス®点滴静注

＜アキャルックス®の構造略図＞



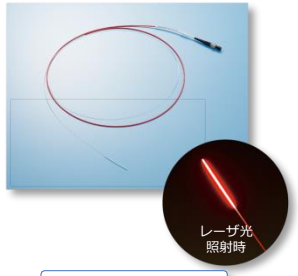




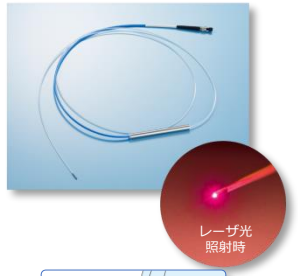
Step2　BioBlade®レーザシステムによるレーザ光照射

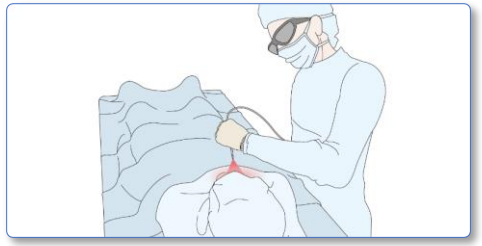
＜BioBlade®レーザシステム＞

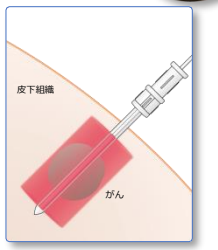
シリンドリカル
ディフューザー

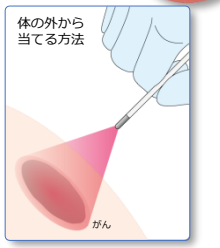


フロンタル
ディフューザー









半導体レーザー用プローブ	229,000円
レーザー光照射用ニードルカテーテル	1,990円

楽天メディカル株式会社提供資料